

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展 古代エジプトの棺と埋葬

エジプト文明の特徴は、埋葬にあります。かの有名なツタンカーメンの墓では、ミイラが四重の棺に入れられ、数多くの副葬品とともに埋葬されました。こうした華やかな埋葬は、ファラオの権威を誇示するためだけではありません。そこには、古代エジプトの死生観が反映されているのです。



吉村作治氏を中心に結成された早稲田大学エジプト調査隊は、1971（昭和46）年、最初の調査権をエジプト政府から取得し、マルカタ南遺跡の発掘を開始しました。そこでは、新王国時代のファラオ・アメンヘテプ3世の儀礼用彩色階段が発見されましたが、その周囲から、後の時代の棺も多くみつけられました。またその後、ダハシユール北遺跡では、未盗掘墓がみつけられ、彩色木棺や青いミイラマスクなどの大発見がありました。

本展覧会では、これら貴重な資料を用いて、古代エジプトの棺と埋葬そして死生観について紹介いたします。

- 会 期：令和7年1月28日（火）～5月25日（日）
休館日 月曜日（休日の場合は翌日）
- 会 場：本庄早稲田の杜ミュージアム 早稲田大学展示室
- 観 覧 料：無料
- 関連事業：特別講演会「エジプト発掘最新報告」
講師 吉村 作治 氏（早稲田大学名誉教授・東日本国際大学総長）

○添付資料 チラシ 1部

問合せ先

- 本件記事に関すること 教育委員会事務局 文化財保護課 担当：松橋
電話：0495（71）6878
- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：飯塚
電話：0495（25）1155

古代 エジプト

ひつぎ まいそう の棺と埋葬

その来世観とは？

2025 1/28 火 - 5/25 日

開館時間：午前9時～午後4時30分

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

会場：本庄早稲田の杜ミュージアム早稲田大学展示室

主催：早稲田大学文化企画課考古資料館

後援：一般社団法人日本エジプト考古学研究所

東日本国際大学エジプト考古学研究所

株式会社アケト



WASEDA University

本庄早稲田の杜ミュージアム
HON70-WASEDA NO MORI MUSEUM

陶棺 (No.418) マルカタ墓遺跡出土 プトレマイオス王朝 (前3～1世紀)

エジプト文明の特徴は、埋葬にあります。かの有名なツタンカーメンの墓では、ミイラが四重の棺に入れられ、数多くの副葬品とともに埋葬されました。こうした華やかな埋葬は、ファラオの権威を誇示するためだけではなく、そこには、古代エジプトの死生観が反映されているのです。

吉村作治氏を中心に結成された早稲田大学エジプト調査隊は、1971(昭和46)年、最初の調査権をエジプト政府から取得し、マルカタ南遺跡の発掘を開始しました。そこでは、新王国時代のファラオ・アメンヘテプ3世の儀礼用彩色階段が発見されましたが、その周囲から、後の時代の棺も多く見つかりました。またその後、ダハシュール北遺跡では、未盗掘墓が見つかり、彩色木棺や青いミイラマスクなどの大発見がありました。

本展覧会では、これら貴重な資料を用いて、古代エジプトの棺と埋葬そして死生観について紹介いたします。

特別講演会

「エジプト発掘最新報告」

講師: 吉村作治

(早稲田大学名誉教授・東日本国際大学総長)

日時: 5月17日(土) 13:30~15:00

会場: 本庄早稲田の杜ミュージアム

(早稲田大学本庄キャンパス93号館) 3階レクチャールーム1

定員: 100名(事前申込制) 受講料: 無料

当日、吉村作治著書・エジプト関連グッズの販売あり



アメンヘテプ3世の彩色階段と陶棺 (マルカタ南遺跡)



セヌウの彩色木棺 (ダハシュール北遺跡)



セヌウのミイラマスク (ダハシュール北遺跡)

セヌウの棺とマスクはレプリカを展示 写真©日本エジプト考古学研究所

本庄早稲田の杜ミュージアム

HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

TEL: 0495-71-6878 <https://www.hwmm.jp/>

ご来館の際は、最新の開催日程・時間をご確認ください。



[アクセス]

- JR上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅より徒歩3分
- JR高崎線 本庄駅南口から はにぼんシャトル(所要時間13分)
「本庄早稲田駅北口」下車徒歩5分 または 本庄南口からタクシー10分
- 関越自動車道 本庄児玉ICから5分 無料駐車場あり



早稲田大学考古資料館 Mail: wasedakouko@list.waseda.jp

Web: <https://www.waseda.jp/culture>

本企画展は、寄付者の皆様から「早稲田文化募金」を通じてご支援を受けています。 Web: http://waseda.jp/contribution/w_culture